

はばたき

■発行/秋田県大仙市教育委員会 太田公民館
TEL0187-88-1119



この QR から「はばたき」
バックナンバーへ

・巻頭言

新型コロナウイルス感染症の急拡大、豪雪そしてロシアによるウクライナ侵攻…年の明けから落ち着かない日々が続いておりますが、こんな時だからこそ心を落ち着けて生活したいものです。

もうすぐ花咲く春です。

・今月の主な活動

つるし雛展 (3/31 まで)

山登り教室 (3/13)

故高橋利郎さん大仙市芸術文化賞 功労賞に (2/18)



大曲農業高校太田分校生徒への指導
(2019年撮影)

受賞理由は次のとおりです。

【1996年から開催されている民謡「秋田おはら節」全国大会での大会運営と伴奏者として大会の発展に大きく寄与した。

また、2010年から大曲農業高校太田分校生徒への民謡指導を行い、秋田民謡の継承と発展に大きく貢献している。氏は2021年9月に逝去されているが、これまでの大仙市の芸術文化の振興と発展に貢献したものと認められ、受賞に至った。】

高橋さんありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

編み物講座 (2/3・17)



講師の手さばきを見習う



講師作 (つけ襟)

先月に引き続き冬季講座として編み物講座を開催しました。今月は新型コロナウイルス感染症の急拡大により午前中のみで開催となりました。

受講生の皆さんは、自分の作品の完成に向けて必死にそして楽しく頑張りました。

参加者9名 (講師1名)

山登り教室（2/20）



講座当日の天気図を分析

今回は山を登る際に必要な基礎知識として、天気図の見方を学びました。山の天候は変わりやすいことは皆さんもご存知でしょう。天候が崩れると遭難の危険があり最悪の場合、死に至ります。そこで、ベテランの登山者はアタックする数日前から天気図を読み込みます。いまはインターネットで地球規模の天気図を見ることができますので、長期的な天気の様子を把握できます。

参加者 19 名（講師 4 名）

パンフレット「おおた風土記抄」



地域の小学 4 年生以上と中学生に配布

このパンフレットは、地域のお母さんから「子供に太田の歴史を学ばせたいけれど、パンフレットみたいなものはありませんか。」との相談を受け制作しました。制作にあたり、太田の歴史の事柄を一つひとつ取り上げるのではなく、キーワードを「祖先達の営みの上に歴史が紡がれていく」として、地域に残された歴史資料から紹介しました。お求めの方は、太田支所、太田公民館で配布しています。

（残部に限り有り）

『太田町史』を読む！（全 12 回）

最終回 太田の未来をどう描く？



太田支所付近から奥羽山脈を望む

町史 1006～1022 ページにかけて「現状認識と将来展望 太田の未来を語る～太田町史座談会～」のことが記されています。この座談会には太田地域の各世代、各界で活躍されている 9 名の方をお呼びして、それぞれが思う太田地域の現状と未来について語っていただきました。詳細は町史に譲りますが、そこで皆さんが太田の未来を考える上で、大切にされていることとして一様に語られたことは「温故知新」…故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知るということでした。これは歴史書から学ぶというだけの話ではなく、親から子への教えや伝統継承の際に先人から学ぶことも含まれています。この座談会の記録には、太田に住む私達の進むべきこれからの道が示されています。